



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月1日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社
 コード番号 7981 URL <http://www.takara-standard.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 梅田 馨
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6962-1531

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	145,808	1.8	11,794	1.2	12,179	1.2	8,137	1.6
29年3月期第3四半期	143,168	1.0	11,658	△9.6	12,037	△9.0	8,006	△6.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,091百万円 (8.6%) 29年3月期第3四半期 9,289百万円 (△0.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	111.26	—
29年3月期第3四半期	109.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	243,447	158,313	65.0	2,164.55
29年3月期	234,647	150,417	64.1	2,056.57

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 158,313百万円 29年3月期 150,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	15.00	—
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年10月1日付で普通株式2株を1株に併合しております。平成29年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は30円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	3.2	13,800	12.3	14,200	12.0	9,700	11.3	132.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	73,937,194 株	29年3月期	73,937,194 株
30年3月期3Q	798,137 株	29年3月期	797,355 株
30年3月期3Q	73,139,495 株	29年3月期3Q	73,140,542 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成29年5月15日発表の連結業績予想は修正しておりません。上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しに加え、海外景気の回復を背景に輸出が堅調であるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

住宅市場におきましては、政府による住宅取得支援策や住宅ローンの低金利が続いているものの、住宅着工やリフォーム需要は盛り上がり欠ける状況にて推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、業界最多のショールームを活用した取引先との合同展示会やリフォーム相談会を積極的に実施するなど、需要の掘り起こしに努めてまいりました。

商品面の取組みにつきましては、当社の主力商品であるホーローシステムキッチンを中心にバリエーション強化を行い、拡販を図ってまいりました。また、最高級シリーズのホーローシステムキッチン「レミュー」・ホーロー洗面化粧台「エリーナ」のフルモデルチェンジや、システムバスに清掃性や意匠性を高めた「キープクリーンフロア」を採用するなど、より顧客満足度の高い商品の提供にも注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,458億8百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益117億9千4百万円（同1.2%増）、経常利益121億7千9百万円（同1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益81億3千7百万円（同1.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①住宅設備関連事業

当セグメントの売上高は1,456億2千9百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は117億2千1百万円（同1.2%増）となりました。

当セグメントの製品部門別の状況は、次のとおりであります。

a 厨房部門

平成29年4月より「家事らくシンク」を新規搭載した中級シリーズのホーローシステムキッチン「エマージュ」・「リテラ」が販売台数を伸ばし、木製システムキッチンも新築市場で販売台数を伸ばしたことから、売上高は851億9千4百万円（前年同四半期比1.9%増）となっております。

b 浴槽部門

システムバスにおいては、新築市場で順調に販売台数を増やす一方で、リフォーム市場においてもマンション向けシステムバス「伸びの美浴室」が販売台数を伸ばし、売上高は332億1千3百万円（前年同四半期比2.4%増）となっております。

c 洗面部門

新築市場及びリフォーム市場において木製洗面化粧台が販売台数を伸ばしたことから、売上高は158億1百万円（前年同四半期比0.9%増）となっております。

d 衛生部門

ホーローによる壁・床・収納の空間提案により単価アップを図り、売上高は24億6千9百万円（前年同四半期比1.3%増）となっております。

e 給湯部門

電気・ガス・石油の全熱源において販売台数が減少し、売上高は17億4千6百万円（前年同四半期比8.2%減）となっております。

②その他の事業（倉庫事業及び不動産賃貸事業等）

売上高は2億3千1百万円（前年同四半期比18.2%減）、営業利益は7千2百万円（同10.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ88億円増加し、2,434億4千7百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金92億1千1百万円であり、主な減少は、たな卸資産21億1千8百万円です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、主に流動負債の増加により、前連結会計年度末と比べ9億3百万円増加し、851億3千4百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ78億9千6百万円増加し、1,583億1千3百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上81億3千7百万円及びその他有価証券評価差額金16億4千9百万円であり、主な減少は、剰余金の配当による21億9千4百万円です。

この結果、自己資本比率は65.0%（前連結会計年度末は64.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に発表いたしました連結業績予想については現時点で変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,258	53,480
受取手形及び売掛金	52,739	61,951
商品及び製品	12,019	9,440
仕掛品	1,882	2,155
原材料及び貯蔵品	3,329	3,517
その他	1,883	1,692
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	125,106	132,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,785	28,871
土地	39,940	39,939
その他(純額)	19,603	17,160
有形固定資産合計	86,330	85,971
無形固定資産	1,651	1,969
投資その他の資産		
投資有価証券	16,250	18,654
その他	5,308	4,622
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	21,558	23,276
固定資産合計	109,540	111,217
資産合計	234,647	243,447

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,416	37,539
短期借入金	9,300	9,900
未払法人税等	2,160	1,673
その他	15,519	11,120
流動負債合計	59,395	60,233
固定負債		
退職給付に係る負債	22,832	22,962
その他	2,002	1,939
固定負債合計	24,835	24,901
負債合計	84,230	85,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,736	30,736
利益剰余金	90,727	96,670
自己株式	△930	△932
株主資本合計	146,889	152,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,795	8,445
繰延ヘッジ損益	△19	△17
土地再評価差額金	602	602
退職給付に係る調整累計額	△3,851	△3,549
その他の包括利益累計額合計	3,527	5,481
純資産合計	150,417	158,313
負債純資産合計	234,647	243,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	143,168	145,808
売上原価	91,046	92,676
売上総利益	52,121	53,131
販売費及び一般管理費	40,462	41,337
営業利益	11,658	11,794
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	334	366
その他	95	69
営業外収益合計	437	439
営業外費用		
支払利息	48	47
その他	10	7
営業外費用合計	59	54
経常利益	12,037	12,179
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	230	262
熊本震災復興支援費用	53	—
特別損失合計	283	262
税金等調整前四半期純利益	11,753	11,916
法人税等	3,747	3,779
四半期純利益	8,006	8,137
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,006	8,137

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	8,006	8,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	956	1,649
繰延ヘッジ損益	4	2
退職給付に係る調整額	322	301
その他の包括利益合計	1,283	1,954
四半期包括利益	9,289	10,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,289	10,091
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	住宅設備関連				
売上高					
外部顧客への売上高	142,982	186	143,168	—	143,168
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	97	97	△97	—
計	142,982	283	143,266	△97	143,168
セグメント利益	11,578	80	11,658	—	11,658

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	住宅設備関連				
売上高					
外部顧客への売上高	145,629	179	145,808	—	145,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	52	△52	—
計	145,629	231	145,861	△52	145,808
セグメント利益	11,721	72	11,794	—	11,794

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。